



6/24(木)の給食、きなこあげパン、ワントンスープ、サラダ、牛乳

うえて、野菜や米を作る。健康な土で作られたものは人間の体も健康にする。」という説明は、子どもたちにとっても、わかりやすいものでした。

石井さ

井崇さんのお宅を訪ねて、インタビューを行いました。過足さんのお宅では、農協職員の方を呼んでいただき、ミネラル野菜の説明を受けました。化学肥料の影響で土が病気になるってしまったので、土を健康な状態に戻した



んのお宅では、長芋、「ゆきぢから」という小麦粉、紫たまねぎ、ニンニクなどたくさん種類の作物を手間をかけ、愛情をかけて大切に育てているというお話を聞きました。

藤井さんのお宅

にんじんを生で試食させていただきました。子どもたちは、「えーっ、生で食べられるんですかあ。」と言いながら口にしました。「うわあ、あまーい。」「こんなにんじん食べたことない。」「めっちゃくちゃおいしい。」「とにんじんを食べていました。また、ミネラルのトマトも試食させていただきました。ミニトマトをやつと食べるといふ子どもが、周囲の子どもたちに「このトマトは違うよ。あまくておいしいよ。食べてみなよ。」と勧められました。ミネラルのトマトを口に運んでいました。結局その子は、普通サイズのトマト一個を「これなら食べられる。」と言って完食しました。

子どもたちは、ミネラル野菜を口にしているだけでなく、詳しい情報を頭に入れたり、作っている様子を見たりしているところでした。

五年生が調べているミネラル野菜についての内容は、いずれ浮金小学校のホームページで紹介する予定です。その際は、ぜひご覧ください。

(記事 鈴木文字先生)



『夏』—子ども達の大好きな水・泥んこ遊び—



「ワーい プールだ プール」



「どろどろ めるめる いいきもち」

「キャー」「ワー」と園庭中に響く子ども達の声。ダイナミックな水遊び泥遊びを、思い切り楽しめる時期がやってきました。どの子も時間が過ぎるのを忘れてしまうほど集中して楽しんでいます。

自分の手や足、肌で触れて確かめ、実感することは、幼児期にとっても大切な経験です。テレビなどから楽に情報を入れていけると、脳を活発に使わないため、直接脳の発達にはつながらず、逆に触ったりするという実体験から知識を吸収し、創造力のもととなるそうです。「どろどろするね。」「コーヒーみたい。」「きもちいい。」子ども達が自分で感じて、発する言葉と一緒に、いつも生き生きとした笑顔がみられます。

暑い夏に身体を冷まし、冬に向けての抵抗力もつけてくれる水遊び。ダムを作ったり料理をしたり、創造力をぐんぐん伸ばしてくれる泥遊び。そして、心も身体ものびのびとさせてくれる夏の体験を、幼稚園でもたっぷりさせていきたいと思います。